

一般社団法人福岡市医師会
定例記者会見

令和3年12月1日(水)13時30分

福岡市医師会 専務理事 案浦 美雪

一般社団法人 **福岡市医師会**



1. 「オンライン資格確認」の本格運用開始

令和3年10月20日より
オンライン資格確認の
本格運用が始まりました

資格確認とは？

…医療機関は、受診された方が加入している健康保険を確認する必要があります。この確認作業が「資格確認」です。

オンライン資格確認とは？

…マイナンバーカードのICチップまたは健康保険証の記号番号等により、オンラインで資格情報の確認ができることです。

マイナ受付
対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナ受付
対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナンバークードを
置いてください。

マイナンバークードが
保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと

POINT 01
より良い医療が可能に！
初めての医療機関等でも、薬剤情報等の閲覧機能を使えば、今までに比べて薬の情報共有がより適切な医療が受けられるようになります。 ※国策できるのは、医師・歯科医師・薬剤師等資格者のみです。

POINT 02
手続きなしで限度額以上の一時的な支払が不要に！
限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

このステッカーが目印！

保険証の代わりにマイナンバーカードで
マイナ受付

事前に登録するだけで利用できます！

詳しくは **マイナポータル**

※出典：厚生労働省HP

一般社団法人 福岡市医師会



2. 「オンライン資格確認」のメリットデメリット

主なメリットとデメリット		
対象	メリット	デメリット
患者・ 一般の方	受付の簡素化 (顔認証で受付自動化)	マイナンバーカードの 取得が必要
	健康管理の向上 (過去の薬剤情報や特定健診 情報が正確に把握可能)	マイナンバーカードを 健康保険証として利用する 為の登録手続きが必要
	窓口で限度額以上の 医療費の一時支払いが不要	全ての医療機関で利用できる わけではない
医療機関	受付作業が簡素化	新たなシステム導入の必要性
	レセプト返戻作業の軽減化	システム導入後の運用管理 とコスト負担

令和3年12月1日



3. 医療現場の状況調査

調査内容：「オンライン資格確認」導入状況 他

調査機関：令和3年11月10日（水）～11月19日（金）

調査対象：福岡市医師会 会員医療機関（1,280件）

回答率：61.2%（783件）

調査項目：10／20からの本格運用開始について

オンライン資格確認の運用状況

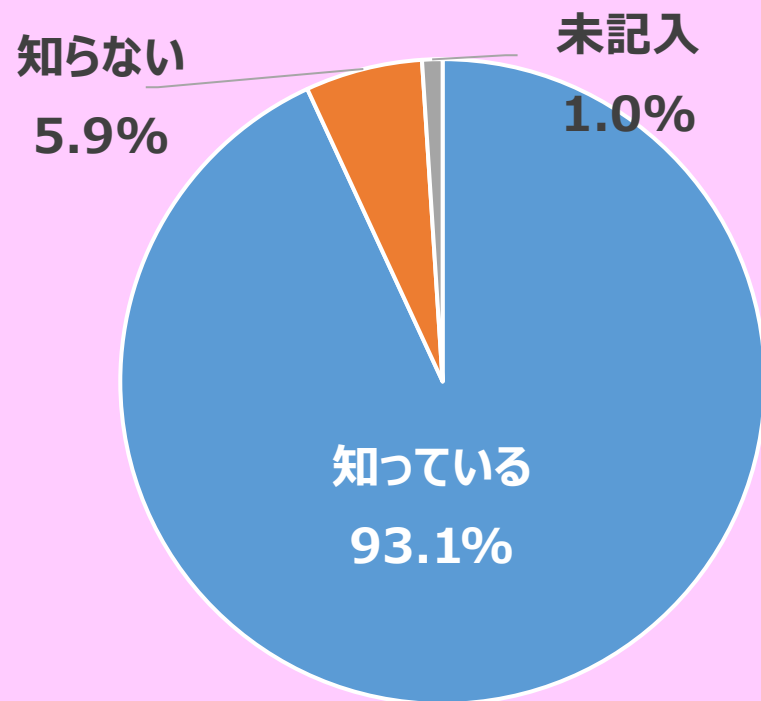
マイナンバーカードの健康保険証利用



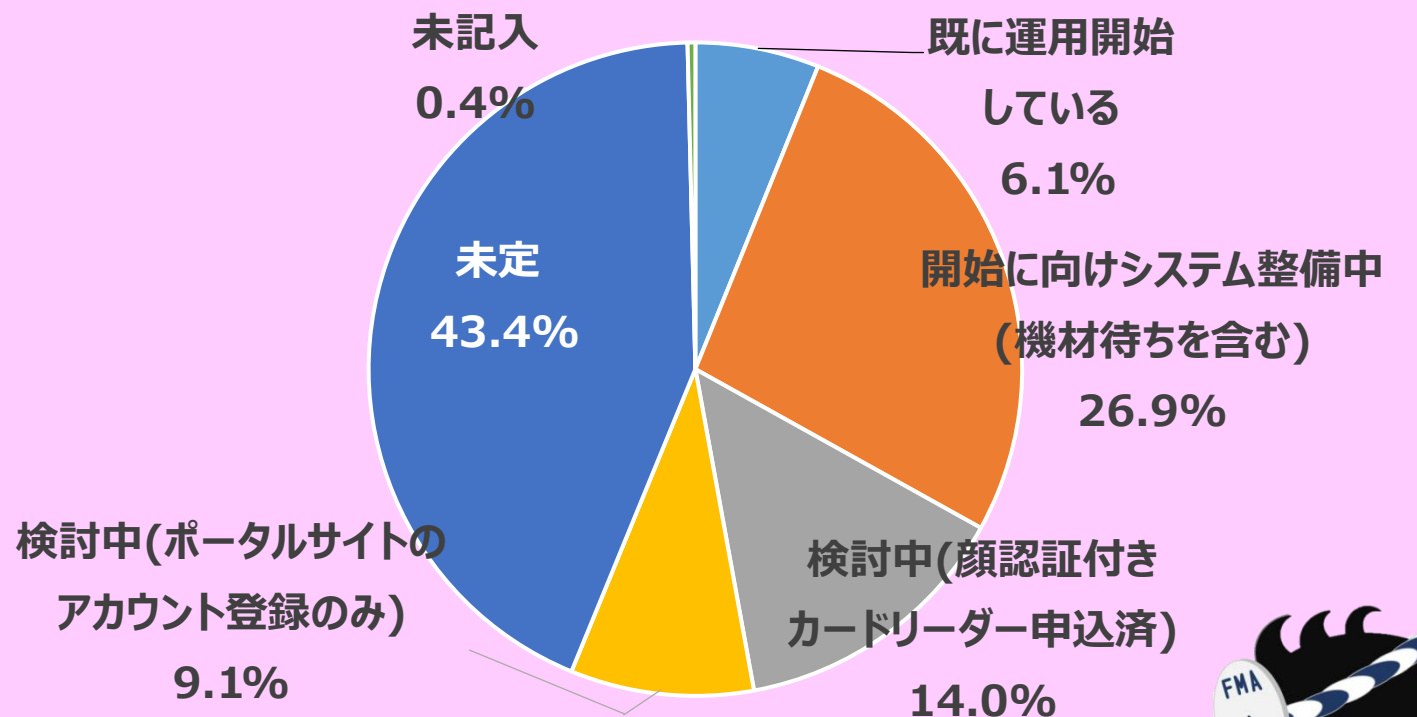
4. 「オンライン資格確認」導入状況の調査

対象： 1,280医療機関
回答： 783医療機関（回答率 61.2%）
内訳： 診療所 709医療機関（90.5%）、病院 74医療機関（9.5%）※11月30日時点

政府がR3/10/20より 本格運用を開始したこと



オンライン資格確認の 運用状況等について



5. 「オンライン資格確認」導入状況の調査

「検討中」・「未定」との回答理由

※複数回答可

理由	回答数	回答率
現状に不便を感じない	346	66.4%
マイナンバーカード普及率	267	51.2%
導入後のランニングコスト	231	44.3%
電子カルテやレセコンを利用していない	97	18.6%
見積額等ベンダー(販売業者)の対応に不満	83	15.9%
その他	87	16.7%

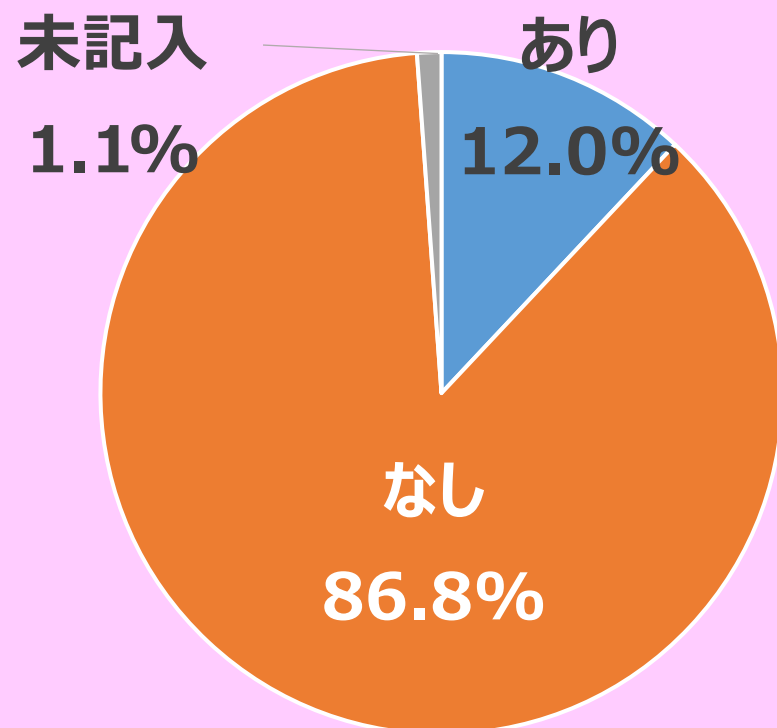
※11月30日時点



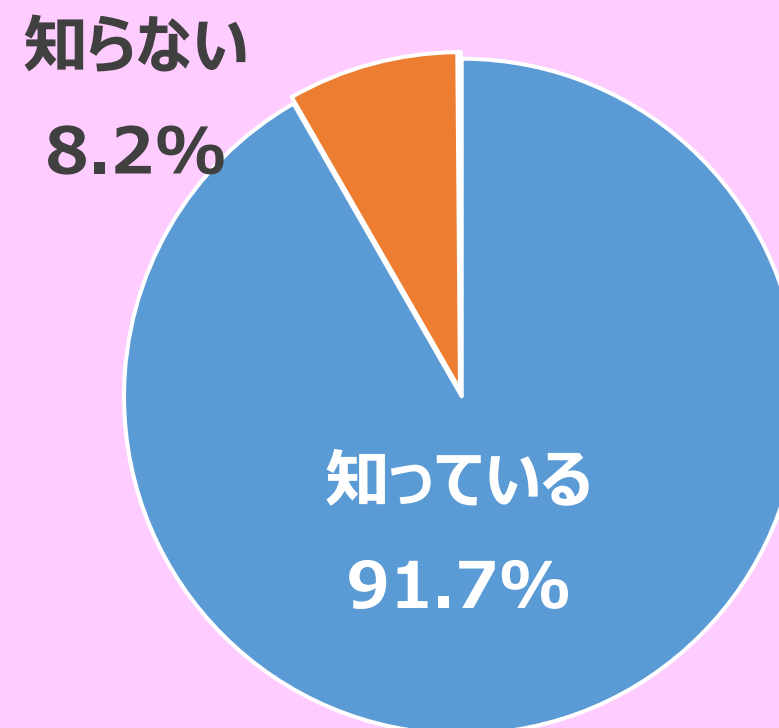
6. 「オンライン資格確認」導入状況の調査

※11月30日時点

マイナンバーカードを
健康保険証として
持参された方がいたか



医療機関において
オンライン資格確認の導入は
義務ではないと知っているか



7. 「オンライン資格確認」導入状況の調査

○運用・整備中 … 33%

●検討中・未定 … 67%

※11月30日時点

医療現場では現状に不便さを感じず、
マイナンバーカードの普及率の低さや
導入後のコスト等を理由として運用に
至っていない状況が見受けられました。

